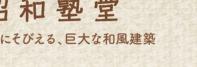
昭和塾堂

城山八幡にそびえる。巨大な和風建築





昭和塾堂の鳥瞰。平面計画・立面ともに「人型」であることが分かる。

た、城山八幡宮の境内に、丘陵からはみ出さ

かつて織田信長の弟信行の末森城があっ

んばかりの大きな鉄筋コンクリー

ト造の建物

の代表格が昭和塾堂です。

されていない凄い建築が残されています。

そ

名古屋には、いまだ文化財の指定も登録も

知られざる名建築

がっているため、全体像が把握しづらく、

ま

外観は八角塔を中心に建屋が人型に広

て、圧倒されるような迫力を感じます。 た寺院建築風の意匠が施された姿とあ がそびえています。

特異点としての背景

で、明治後期ごろに全国で創立されました。 に存在した若者の教育機関を前身に持つ組織 施設として建設されました。青年団とは、ムラ わっています。この建物は元々、青年団の教育 昭和塾堂の特異性は、時代的背景とも深く関

建物が出来上がったと考えられます。 知県が担当し、全国的に見ても異例の規模の た。それが起因となり、昭和塾堂の建設は愛 成され、その発団式は名古屋で開催されまし いいます。そして大正14年には全国組織が結 一方で、青年団は八紘一宇の気分とも同調 訓令には陸軍の意図が強く反映されたと

予期せぬ美しさ

とっておきの場所があります。 昭和塾堂には、型にはまらない建物らしい

と神道とキリスト教が融合したような、とて は、上部のアーチ窓がキリスト教の教会堂の くほど明るい空間となっています。 一つは塔屋頂部の静坐室(神殿)です。ここ ムにのる明り取りのような効果になり、驚 まるで仏教

静坐室上部の明り取り

謎めいたデザイン

は、昭和塾堂の設計にあたり、奈良や京都の社 寺仏閣や教会堂などを見学に行ったと伝わっ この建物を設計した愛知県営繕課のメンバー

整合が取れておらず、平面計画と外観のデザ 先には鴟尾がのり、軒の先端が反っていること など、仏教建築的な意匠が散見できます。 塔上部の相輪のようでもあり、また建屋の棟の ただ一方では、軒下の垂木が壁面の柱型と 外観を詳細に見ると、塔頂部の装飾は五重

とも考えられます。 や愛知県庁舎と同様に顧問に佐野利器が参加 しており、帝冠様式につながる意向が働いたこ 昭和塾堂の設計に関しては、名古屋市庁舎 インの調整に苦労したようすも伺えます。

張りされていて、 下です。ここの床にだけカラフルにタイルが乱 も神秘的な場所です。 もう一つは地階の風呂や洗面所に通じる廊

荘厳な雰囲気の洗面所

て、言葉にできない美しい空間となっています 半地下の静謐な光と合わせ



乱張りされたタイル



相輪風の装飾がのる八角塔